

一般社団法人 福岡音楽大学設立の会

第7回

バリアフリー新春コンサート

Tekkai Kurita

Koh Matsuo

Naomi Yanaga

Mamaka Mena

Hasuga Symphony Orchestra



Barrier-free New year Concert

2022. 2. 6. <Sun> 14:00 開演
[13:20 開場]

電気ビル共創館 みらいホール

【TEL】0120-222-084 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

※会場では入場者数を制限するなど、コロナ感染対策を徹底しています。

曲目

- ☐ ヴァイオリン：サン・サーンス／序奏とロンドカプリチオーソ
- ☐ オペラ：ヴェルディ／歌劇「リゴレット」よりアリア、二重唱
- ☐ 管弦楽：歌劇「カルメン」前奏曲、喜歌劇「ジプシー男爵」序曲、他
- ☐ 楽器紹介、指揮体験コーナー

※曲目は変更されることがあります。

主催：一般社団法人福岡音楽大学設立の会

問合せ：092 - 935 - 8621(事務局)

入場無料

ご招待者のみ



一般社団法人福岡音楽大学設立の会の活動

「もし福岡に音大があれば・・・」。音楽を学ぶ多くの子供や中・高校生が、音楽家への道を志しながら断念している状況が、ここ福岡で何十年も続いています。

そこで私たちは、平成26年に「今こそ福岡に音楽大学を！」を合言葉に音楽大学設置を目標に活動してきました。同時に、音楽のすそ野を広げる活動の一環として、どなたでもクラシック音楽を楽しむことのできる「バリアフリーコンサート」を毎年開催してまいりました。芸術音楽の素晴らしさに触れていただき、一緒に音楽大学の必要性を考えていただければ幸いです。

〈出演者プロフィール〉

◆ MOMOKO MENO 目野 萌々子 (ヴァイオリン)

2006年9月28日生まれの15歳。5歳よりヴァイオリンを始める。第72回全日本学生音楽コンクール北九州大会奨励賞、第14回ベーテン音楽コンクール全国大会第4位、国際コンクールString_Avenue Young Artist solo部門第1位、ヴィアニアフスキーベストパフォーマンス賞受賞。アンペレーナ百道にて姉妹でフロアコンサートを行う。松岡祐美、景山裕子、各氏に師事。現在、福岡雙葉中学校3年生。これからが楽しみな逸材である。

◆ NAOMI YANAGA 彌永 尚美 (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラコース修了。大学在学中にSONYミュージックSD主催オーディションに合格し、三枝成彰氏プロデュースNHK教育番組にレギュラー出演。大学院オペラ「フィガロの結婚」花娘、「コシ・ファン・トゥッテ」デスビーナ国立音楽大学音楽研究所主催 歌劇「オロンテア」ジャチンタ、その他「椿姫」、「リゴレット」、「ランメルモールのルチア」などに出演。海外ではイタリアのテアトロピアマルタにてプレーシャ市主催「ジャチント プランデッリ コンサート」、ザルツブルグ・モーツアルティム音楽院サマーアカデミーコンサート等に出演。その他合唱ソリストを務める。美しく透明感のある歌声と高度な歌唱技術で高い評価を受けている。東京文化会館推薦新進音楽家オーディション合格 多摩フレッシュ音楽コンクール第3位。二期会会員。

◆ KOH MATSUO 松尾 興 (バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。ザルツブルク・モーツアルテウム、イタリア・ジェノヴァにて研鑽を積む。西日本新人紹介演奏会本選「福岡音楽文化協会賞」(声楽部門最高位)、国際コンクール下関「審査委員長賞」(東敦子)、飯塚新人音楽コンクール入賞、ザルツブルク・モーツアルテウム国際声楽コンクールファイナリスト。オペラでは歌劇「真間の手古奈」行麿、「フィガロの結婚」伯爵、「海の子守歌」老人、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールをはじめ、東京・名古屋・広島・福岡・長崎にてオペラハイライト歌劇「オテロ」ヤーゴ、「椿姫」ジェルモン、「トロヴァトーレ」ルナ伯爵、「カルメン」エスカミーリョ、「フィガロの結婚」タイトルロール、「リゴレット」タイトルロール、「トスカ」スカルピアを演じた。'96サルザーナ歌劇場(伊)にて歌劇「リゴレット」タイトルロールでイタリアデビュー。その後、サルザーナのテアトロインバヴィディ、ボルトフィエノのテアトロコムナレをはじめ、サンタ・マルゲリータ・リグレ、アルベンガ国際音楽祭、インペリア等、イタリア各地で出演。また、ベートーヴェン「交響曲第九番」、ヘンデル「メサイヤ」、バッハ「カンタータ」、モーツアルト「戴冠ミサ」等、各地の交響楽団と共演。リサイタル・ジョイントリサイタルは40回を超える。福岡音楽大学設立の会副会長、福岡国際オペラフェスティバル代表、三瀬高原音楽祭音楽監督。

◆ TEKKAI KURITA 栗田 哲海 (指揮)

1973年福岡教育大学音楽科を卒業。指揮を渡辺暁雄、安永武一郎に師事する。

1979年第14回民音指揮者コンクール(現:東京国際音楽コンクール)第三位入賞。その後、九州交響楽団をはじめ、東京都響、大阪フィル、名古屋フィル、西日本フィル、札幌響、新生日響、広島響などで指揮。また1985年には韓国大邱直轄市交響楽団を指揮する。1986年から88年にかけて北九州交響楽団の常任指揮者を務める。また、西日本オペラ協会とピゼーの歌劇「カルメン」、フンバーディンクの歌劇「ヘンゼルとグレーテル」、広島市民オペラとヴェルディの歌劇「椿姫」、プッチーニの歌劇「外套」、ガーシュインの歌劇「ボギーとベス」ハイライト等を指揮し、好評を博す。現在福岡を中心に九州交響楽団、周南フィルハーモニー、宗像シンフォニックウインズ、混声かすが合唱団等の指揮者として管弦楽、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など幅広く活躍している。1994年より春日交響楽団の常任指揮者に就任。

◆ KASUGA SYMPHONY ORCHESTRA 春日交響楽団 (シンフォニーオーケストラ)

春日交響楽団は、市民とともに春日市の音楽文化向上に寄与することを目的として1994年に発足。プロ音楽家の指導を受けながら、主催演奏活動、市および他団体との共演、音楽鑑賞教室など幅広い演奏活動を展開。年一回の定期演奏会(6月)では、メインの交響曲演奏に加えて、ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・ホルンなど国内外で活躍するソリストと協演し、聴衆の喝采を浴びている。クリスマスコンサート(12月)では、一般市民から合唱団員を募集してベートーヴェンの交響曲「第九」をはじめ、モーツアルトのミサ曲の合同演奏、著名な歌手を招聘してのオペラアリアコンサートなどを開催し、地域に親しまれている。約60名の団員は学生から社会人まで幅広く、老若男女のハーモニーで更なる飛躍を目指している。